



さくらたより

令和3年度 学校だより
NO. 20
令和3年12月24日発行
山形市立桜田小学校

2学期終了 ご協力に感謝

運動会・学習発表会・学習参観・各学年の行事等、「コロナ禍の中でも、できることを」と、日常生活を大切に刻みながら、できる限り行事をなくさない方向で考え、取り組んできました。子どもたち、よくがんばりました。“あこがれの人、なりたい自分を目指して、日々高まっていく自分を感じる楽しさ”“仲間と協力してものごとを創りだしていく楽しさ”などを実感する、充実した2学期でした。

終業式では、おおよそ次のような話をしました。(要旨)

「いろいろ」という言葉で済ますにはあまりにももったいないくらいの出来事がありました。

同じ時間を仲間と共に生きてきました。例えば大きな行事としての運動会。係分担をして、自分の役を責任を持って行い、みんなで創り上げる経験。競技で全力を尽くし、ライバルと競い合い、勝って嬉しく思ったり負けて悔しい思いをする経験。

また、学習発表会で、気持ちを合わせて演技や演奏など。「やった！できた！」と共に感動する時間。一人ではできないことも、みんなと一緒にならできると実感したことでしょう。

毎日の教室での学習もそう。みんなで考えを出し合い、「ああでもない、こうでもない」と練り合う中で、よりよいものを創り出していきました。たてわり班の活動もそう。遊びや、さくらピクニック、毎日の掃除。班の中でお互いが影響し合い、高め合いました。“あこがれの先輩”も、見つかりましたね。

このように、多くの仲間が集まる学校ならではの「素敵な時間」を重ねてきました。仲間がいたからこそ、自分は伸びることができた — そのことを改めて分かってほしいと思います。

忘れてならないのは、担任の先生方、担任以外の先生方です。同じ時間を過ごし、共に笑い、共に感動し、時には厳しく叱り、みんなと「よりよい生き方」をしていこうと、頑張りました。先生方も、広い意味で、みなさんと生活を共にする仲間なのです。2学期の終わり、節目に当たり、改めて多くの仲間感謝したいものです。

さあ、冬休みです。ここにいる仲間としばしの間別れ、家族との時間となります。どうか、自分で自分の時間をコントロールし、ゲームに溺れることなく、テレビ漬けにならず、読書の時間と家族との時間をたっぷりととれますようにと、願っています。

学校は、安心・安全な生活の場です。それを土台として、新たな物事を学び(教科の学習等)、仲間と協働することの心地よさを体得していきます。「安心・安全」を最優先に、様々なトラブルを「成長の種」とすべく、子どもたちとともに取り組んで参りました。ご心配をおかけした事案もありましたが、解決に向けて日々動いていることをご理解ください。節目に当たり、保護者の皆様からのご協力に改めて感謝申し上げます。

児童の活躍

山形市読書感想文コンクール

【入選】 2年 A・K
3年 T・Y

山形市子ども造形展

【入選】 1年 H・H
2年 N・R
3年 A・Y
4年 S・T
5年 T・Y
6年 M・H

山形市理科学研究発表会

【優秀賞】 3年 J・R
【入選】 3年 T・O
5年 T・F
5年 S・Y

山形地区小学生人権書道コンテスト

【奨励賞】 5年 M・Y

2学期 終業式 児童代表の言葉 (要旨)

1年 M・R ぼくは、鉄棒をがんばりました。ぼくは鉄棒が苦手でした。特に“さか上がり”が苦手でしたが、今はできるようになりました。もっとすごい技ができるようになりたいです。

鍵盤ハーモニカもがんばりました。指づかいが難しいのでがんばって練習したら、できるようになりました。これからはいろいろな曲をひきたいです。

算数の計算もがんばりました。友だちに教えてもらっていたら、できるようになりました。とてもうれしかったです。今度は自分が友だちに教えるようになりたいです。

3年 I・M わたしが2学期成長したことは3つあります。まず、文章を書くことです。書くことは苦手に思っていて、宿題の作文を書くのが大変です。国語で“すがたをかえる大豆”に取り組み、文章の書き方を勉強して、読んでもらう人を想像しながら、どんな文章だと読みやすいかを考えて書きました。うまく書けて、自信が持てました。

次に、クラスみんなに呼びかけることです。2学期の代表委員になり、はじめは緊張しましたが、一生懸命やっているうちにみんなのことを考えて行動できるようになりました。今までは自分のこと中心だったけれど、だんだんみんなのことを考えられるようになりました。

最後に、「総合」で学んだことです。SDGsのことを勉強し、わたしはとくにゴミのことを調べました。実際に公園のゴミ拾いをすると、お菓子の袋やペットボトルなどたくさんありました。少なくなるようにポスターをつくります。

このように成長したわたし。3学期はもっと成長したいです。

5年 H・A わたしは5年生になってがんばったことが2つあります。1つ目は、授業の中でたくさん意見を言うことです。3・4年生の時は、恥ずかしいと思い自分の意見を少ししか言っていませんでしたが、5年生になってからその気持ちをなくし、当てられる前に言うようにがんばりました。積極的に意見を言うことができるようになりました。

2つ目は、人前に立つことです。学習発表会では立候補して実行委員長になりました。リーダーとしてみんなをまとめたり話し合いを進めたりすることは簡単ではありませんでした。練習を少しずつ重ね、本番では最高のパフォーマンスができました。大勢の人の前で何かを発言するチャンスがあれば、これからはどんどんやっていきます。

3学期がんばりたいことは、6年生に向けての行動です。勉強、縦割り班のリーダーなど、準備をしたいと思います。下学年のお手本となれるようにがんばりたいです。

こうあるといいなあ(2) 「ルールは守るのが当たり前」 「ゲーム等に関わる家庭内ルールを守っている」

タブレットの家庭への持ち帰り

持ち帰りがまもなくです(本校は、現5・6年生は1月下旬から、現4年生は4月からを予定)。教室では、キーボード入力やインターネット検索、写真や動画撮影、ドリル学習等、自分で学習の道具として使えるように使用経験を積んでいます。

市教育委員会からの保護者向け文書(2枚) 児童向け文書(1枚)

持ち帰りに関わって、市教育委員会からの文書(本日家庭数で渡しました)に目を通していただき、子どもたちが安心して使用できるようにご協力をお願いいたします。

自分で自分をコントロールする力

ルールを守ることは、とても大事です。入ってはいけないとされるサイトに入らない、SNSへの書き込みはしない等、自分で自分をコントロールする力が大切です。現段階で、多くの子どもたちが何らかの“ゲーム”を行っていると思いますが、どうでしょう、お家の方とのルールは守られていますか? 何事もおいても、人が見ている見えていないに関わらず、「ルールは守って当たり前」の子どもに育ってくれるといいなあと思います。以下、ルール案とねらい。

①子どもが達成できそうなルールにする(守れたという成功体験を積ませる)

②親が結果を確認しやすいルールにする(守れたことをちゃんと評価してあげる)

③親の都合でルールや報酬を勝手に変えない(約束は破っていないものと学習してしまうことを避ける)